

JD Farag 牧師 中東アップデート 2018年4月22日公開

..... クリスチャンと神の御言葉への攻撃

今日の預言アップデートは、最近ずっと、主が私の心に強く語られている事について、お話したいと思います。実は先週、主がずっと語っておられるのは、イエス・キリストの信者であり、主に従う私たちが、どれほどこの世に長居しすぎたか。私たちは、この世から歓迎されてはいませんが。ここは、私たちの帰る場所ではありません。それでも世の中のクリスチャンと、キリスト教に対する敵意は、どんどん増大しているように感じます。今日はそれについてお話します。

ただその前に言っておきますと、これは良いことです。それによって、この世とこの世のものに幻滅しますから。そしてそれが必要なのです。中にはとうにその時点を過ぎて、既にこの世での人生が終わってしまっている人もいるでしょう。そういう人たちにとっては、主が来られるのが、ものすごく遅く感じているかも知れません。またある人たちにとっては、終わりに向かって突進している今でも、全てがいつも通りかも知れません。この増大するユダヤ人とクリスチャンに対する敵意のおかげで、それぞれの危機に直面している人も多いでしょう。ところでこれもまた、主が戸口まで来ておられる事のしるしですよ。

アメリカ国内における、クリスチャンに対する敵意の増大は言うまでもありませんが、それに加えて中東、特にイスラエルに対して起こっている事を見れば明らかです。毎週これについてお話ししていますので、今週は、詳細は省くとして、3つの預言がスクリーンに映っていると思いますが、私たちは、聖書の中の特定の預言が、成就され始めているのを目撃しています。それも週毎ではなく、時には日毎にです。それに追いつくのが大変なほどで、確実に先週などは、ものすごい勢いで進みました。現在シリアで、ロシア、イランと共に起こっている事、**その目的がエルサレム**であることなどは特にそうです。

毎週同じことを言っているのは分かっていますが、それでも言わざるを得ず、またこれを言うことによって、センセーショナルに聞こえる危険があることも分かっていますが、それでも私は心の底から信じているのは、全面戦争に突入するのは時間の問題です。違う言い方をすれば、“クリック一つ” だという事です。それほど近いのです。

特にこのイザヤ書 17:1 の預言で、シリアのダマスカスが滅ぼされて廃墟となる、と告げられています。そして現在、この預言が成就寸前であると私は心底思います。そこで大きな疑問は、私はこれを度々問うていますが、イザヤ書17章が、携拳の前に起こると思うか？それとも携拳の後か？私たちには分かりません。私たちには分かりません。ただ私たちに分かっている事があります。それが起こると、連鎖して起こる預言的出来事が迅速に動き始めます。次のことを理解しておくのは非常に重要です。

現在世界中で起こっていることの全て、特に私たちの愛するアメリカ合衆国で起こっている事は、前もって聖書の中で告げられています。聖書の3分の1以上が預言である、と考えられています。それについて良く考えてみてください。

それに対してイエスが答えられたのは、「戦争のことや、戦争のうわさを聞くでしょう。」（マタイ 24:4）ちなみにここは訳によって、「戦争のうわさ」とは、「戦争の脅し」という意味が含まれるとあります。そしてそれらはエスカレートする。「民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり」（マタイ 24:7）そして彼は、これを頻度、激しさ共にどんどん増す「産みの苦しみに」例えられました。つまりこういった戦争がエスカレートする。それも具体的には中東で起こり、それから神の民と神の御言葉に対する戦いもエスカレートする、と。

金曜日 CBN が、法案について報道しています。これについて皆さん聞いていますか？ある法案が成立に一歩近づいた。それによって、最終的にはカリフォルニアで聖書の禁止に繋がります。簡単に記事をご紹介します。親 LGBTQ 法案が、木曜日討議で認可されたあと、迅速に進みつつある。次に州議会での投票に持ち込まれ、もしそれが通過すれば、議会法案 2943 は、最終的にクリスチャンにとって、言論の自由と信仰の自由を脅かす事になる。これはホモセクシャルや、性自認問題に関して、宗教の自由と、言論の自由を制限する、消費者詐欺防止法として用いられる。つまりこの法案によって、性的に混乱している人や、ホモセクシャルの人たちを助けるための資料配布や本の販売、カウンセリングの提供、聖書を基礎とした模範へ導く事が不法となる。基本的にはこの話題に関して、聖書に基づいて教える教会や、キリスト教系の学校が訴訟の対象となる。法案はまた、助けを求める人に対して、聖書を基としたカウンセリングを行う事も禁止しようとしている。

同じく金曜日、CNS ニュースは、GQ 誌の聖書批判について報じています。男性誌 GQ の編集者は、その記事の中で聖書を酷評。読む必要のない本であると宣言し、選択肢の一つであると示唆した。GQ はまず聖書を「辛辣なクリスチャンの策略だ」と批評した。聖書はおそらくそれに頼って生きる人々の間では、頻繁に読まれているのだろうが、現実を生きる者たちは読んでいない。読んだことのある者は、そこに良い部分もあることもわかっているが、全体的に見て、人類が作り出した物の中で、これが最良でないのは確実だ。

---問題は、これは人間が作り出した物ではないのです。

聖書の内容について、GQ は次の一文にまとめ上げた。『退屈で』 ---聖書が、です。

『自己矛盾しており、教訓めいた』 ---つまり裁いている。

『馬鹿げている』 ---らしいです。

『時によっては、悪意的でさえある』

さらに悪くなりますよ。これは金曜日、この前日の木曜日は Jews News です。興味深いです。非常に興味深い記事を書いています。加えていうならよく書けていると思います。タイトルは、

「ニューヨーカーからクリスチャンへ。お前たちのような人種はここに要らない。」記事の中で筆者は、Dan Pipenbring 氏が書いたニューヨーカー誌の記事を引き合いに出しています。それによれば、『Chick-Fil-A's ブランド（クリスチャン系ファーストフード店）のニューヨーク出店は、少なからず潜入のように感じる。そこに隅々まで浸透している、伝統的なキリスト教の為だ。』

アトランタにある、（Chick-Fil-A）本社は、聖書の聖句と、イエスが弟子の足を洗っている像で装飾されている。ニューヨークのクリスチャン達も ---ちなみにたくさんいますよ？感謝なことに。--- 自分の町で、自分が潜入者とは驚きだろう。しかし Pipenbring の世界では、いかなる部外者も避けなければならない。彼はさらに主張して言う。『彼らの宣伝・宣教メッセージは、田舎の敬虔さに湾曲されている』何より彼が憤慨しているのは、この店の企業目的が、次の言葉から始まるという事実だ。 ---用意は良いですか？

『神の栄光を現す為』ワオ...

それから、メガチャーチの素朴な空気を持つ店が位置する Fulton 通りの水面下で、改宗がガタガタと音を立てている。文中の言葉一つ一つから侮辱がしたり、これはただ Piepenbring 氏が、少しも耐えられないと泣き言を自白しているに過ぎない。これには、我々の時代の”Bugbear/人食いお化け “を彷彿させられる。

---何の事だか分かりますか？ 「アメリカの福音主義」

皆さん同感でしょうか？クリスチャンが邪魔なのです。この意味は、皆さんも分かりますね？我々が邪魔なのです。そしてそれは良い事です。私たちが居なくなってから、彼らは何でも好きな事が出来るようになりますよ？しかし我々がここにいる間は、我々が保存の為の塩であり、闇を暴く光なのです。私たちは塩であり、光ではなかったですか？塩は腐敗を遅らせます。だから私たちが一旦ここから出ていけば、好きなだけ腐れば良い。ちなみにそれは7年しか続きませんよ？だから「Bon Appetite! /どうぞ召し上がれ！」またしても皮肉ですみません。いや、というより真剣ですよ。

実は私はこれについて考えていたのです。金曜日に起こったことが、私にはかなり衝撃で、それについて深くは話しませんが、私は思ったのです。「わお主よ！これは面白い！」多分私が驚く事ではないでしょうが、ここは墮落した世であって、ここは私の最終目的地ではありません。なのに、正義や公平、公正、高潔を求めたところで、喜びを得られるはずがないのに。時に牧師として、あまり外には出ないもので。牧師というのは、そうでない人の生きている世界とは違って、皆さんは牧師と違って、前線を生きていますが。私が牧師になる前、ビジネスの世界で生きていた頃には、牧師としてでは伝えられないような人々に、伝道することが出来ていたのです。皆さんは牧師である私よりも、ある意味職場などでその機会が多いのですよ？

ともかく、例えば正直な人というのは、他の人も正直であると考えますよね？その逆もまた言えることで、異常に嘘をつく人は、皆を嘘つきだと見えています。違いますか？これは分かりますね？では高潔に生きようとしていて、何か不誠実な事が起こるのを目にしたとき、最悪の場合それが自身に降りかかったとき、それも、ものすごい露骨な不誠実さだったとしたら、ある意味動揺しませんか？しかしこれは良い事です。これによって、少し目が覚めますから。何も期待してはいけませんよ。何も期待してはいけません。

初めにお伝えしたとおり、これは良い事だと私が思う理由は、この世は私たちの帰る場所ではない為です。だから私たちが世から憎まれたとしても、私たちは驚くべきではありません。ちなみにこれは良い事です。ヤコブは今日の私の心と思いを代弁してくれていて、ヤコブは実にはっきりと言っています。

「あなたが世と親しくしているなら、あなたは神に敵対しているのだ。」彼はこれを、『靈的姦淫』と呼んでいるのです。あなたは姦淫しているのだ！と。「あなたが世と親しくしているなら、あなたは神の友ではない。」世はあなたを憎みます。しっかり注意してください。もし世があなたを愛したら...よく聞いてください。もし敵が、あなたに贈り物とお礼のカードを、あなたの奥様に花束を送って来たなら、大変な事になっていると思ってください。ヨハネの福音書 15：18-25で、イエスが言われたことを聞いてください。

「もし世があなた方を憎むなら、世はあなた方よりも私を先に憎んだことを知っておきなさい。もしあなた方が、この世のものであったなら、世は自分のものを愛したでしょう。しかしあなた方は世のものではなく、かえってわたしが世からあなた方を選び出したのです。それで世はあなた方を憎むのです。しもべはその主人にまさるものではない、とわたしがあなた方に言った言葉を覚えておきなさい。もし人々がわたしを迫害したなら、あなた方をも迫害します。もし彼らがわたしの言葉を守ったなら、あなた方のことばをも守ります。しかし彼らは、わたしの名のゆえに、あなた方に対してそれらのことをみな行います。それは彼らが、わたしを遣わした方を知らないからです。もしわたしが来て、彼らに話さなかったら、彼らに罪はなかったでしょう。しかし今では、その罪について弁解の余地はありません。わたしを憎んでいる者は、わたしの父をも憎んでいるのです。もしわたしが、他の誰も行ったことのないわざを、彼らの間で行わなかったのなら、彼らには罪がなかったでしょう。しかし今、彼らはわたしをも、わたしの父をも見て、その上で憎んだのです。これは、『彼

らは理由なしにわたしを憎んだ。』と彼らの律法に書かれていることばが、成就するためです。」

(ヨハネの福音書 15:18-25)

もう少しだけこの部分について、話をさせてください。私は、私たちの誰もが、次の部類のどれかに入ると思うのです。

1つ目が、生ぬるいクリスチャン。

この世に親しみ過ぎ、また馴染み過ぎている人たちで、次に対して興味がないのは、それが一つの理由です。もしそれが今日ここにいてあなた、もしくはインターネットでこれを見ているあなたなら、どうか黙示録のラオデキヤの教会に対する、救い主のことばを聞いてください。そして、イエスが叩いておられる扉を開いてください。そうすれば彼は、あなたの人生にまた戻って来る事ができますから。手遅れになる前に。

2つ目は、この世にうんざりしている残されたクリスチャン。

私もここに含まれます。だから私たちは、主の戻りを待ち望み、さらには呻き痛んでいます。そこで私は、主がわたしを励ましてくださった言葉で皆さんを励ましたいと思います。イエスは、黙示録3章特に11節で、フィラデルフィアの教会に次のように告げておられます。彼のことばを聞いてください。イエスが言っておられます。

「わたしはすぐに来る。あなたの冠を誰にも奪われないように、あなたの持っているものを、しっかりと持っていないさい。」(黙示録3:11)

この冠は、何のことを指しているか分かりますか？彼は、パウロが書いている冠の事を言っておられるのです。第二テモテ4:8で、パウロが伝えている事よく聞いてください。彼の命が終わりに来ている事を、彼はわかっていました。

「今からは、義の栄冠がわたしの為に用意されているだけです。かの日には、正しい審判者である主が、それを私に授けて下さるのです。私だけでなく、主の現れを慕っている者には、誰にでも授けて下さるのです。」(第二テモテ4:8)

「先生。私はあとどれだけ耐えられるか分かりません。」と思う人もいるでしょう。「実際のところ、もうギリギリです。」と。それに対して、わたしがお伝えするのは、神は、神にしか出来ない形で、聖霊によって、あなたが最後まで耐え抜く為に、あなたに必要な力を与えてくださいます。彼は、あなたをここまで連れて来られたのです。なのに、ここであなたを見捨てると思いますか？彼があなたから離れると？彼が見放すと？それは有り得ません。彼は私たちをいつも共にいてくださいます。世の終わりまで、彼は私たちから決して離れず、私たちを決して捨てたりされません。あなたがこれまでに直面した事の全てを、彼は助け出してくれませんでしたか？この時点まで。それがここへ来て、言われると思いますか？

「これまでだ!」「これからは自力でやるんだ。」「わたしはすべき事をした。」

いいえ。

「でも先生。わたしは今、本当に苦しくて、やっとのことで耐えているのです。」

神の御言葉の権威によって、わたしはあなたに約束し、あなたを励まします。彼は、何であれあなたが今直面していることを乗り越えるために、必要なものは全て与えてくださいます。

大事なのは、時に神は、明日のマナを今日与えてはく下さりません。私たちは、明日のマナを今日欲しがります。イエスが弟子たちに祈り方を教えたとき、彼は言いました。

「私たちの日毎の糧を今日お与えください。」(マタイ6:11)ところが私たちはよく、こんな風に祈ると
 思います。「主よ。月ごとの糧を今日、お与えください。」そうすれば私たちは持って、彼を求める必要
 もなければ、彼に信頼する必要もありませんから。しかし主との関係の中で、私が主に依り頼む事、主を見上
 げる事、主に信頼する事を、彼は望んでおられると私は確信しています。

3つ目は、クリスチャンではないが、世で起こっている事に関して真っ当な疑問を持っている人たち。
どうかよく聞いてください。そして私がこれから言う事を誤解しないでください。多分この理由のために、私
たちはまだここにいるのだと思います。第二ペテロ3:8-9に書かれている事をよく聞いてください。

「しかし愛する人たち。あなた方は、この一事を見落としてはいけません。すなわち主の御前では、1日は千
年のようで、千年は1日のようです。主はある人たちが遅いと思っているように、その約束の事を遅らせて
おられるのではありません。かえって、あなた方に対して忍耐深くあられるのであって、一人でも滅びる事を
望まず、全ての人が悔い改めに進む事を望んでおられるのです。」(第二ペテロ3:8-9)

よく聞いてください。皆さんはご自分が救われる前に、主が戻って来られなくて良かったと思いませんか？先
 週、YouTubeチャンネルに入ったコメントに、ものすごく祝福され励まされました。それが7年前の2011
 年に私たちが投稿した動画、「なぜ携挙は、7年の大患難前に起こるべきなのか。」にコメントがついて、彼
 女はこう言いました。「神に感謝します！」彼女は基本的にはこんなふうに言いました。「神よ。2011年
 に来られなかった事に感謝します！私は2年前に救われましたから。その時だったら私は取り残されていま
 した。また主よ。まだあなたの御名を呼び求めて救われていない人のために、まだあなたが来られていないこと
 に、感謝します。」この人は、クリスチャンになって2年ですよ。わたしはものすごく謙虚にされました。こ
 れには謙虚にさせられました。長年、主と共に歩んでいる私たちは...こんな風には考えません。神は、誰ひとり
 として滅びる事を望んでおられないのです。まるで神が遅れておられるのは、誰も滅びさせない為のようで、
 まだ時間がある間に、人々が救われる事を、彼は望んでおられるのです。

もしそれがあなたなら、どうかあと少しだけ耳を傾けてください。

これから、イエス・キリストにある救いの良い知らせ、イエス・キリストの福音をお伝えしますから。もっと
 具体的に言えば、「朗報です！あなたの負債が支払われました。あなたは自由だ！」良い知らせです。これが
 福音の意味です。そして使徒パウロが、第一コリント15:1-4で福音を次のように説明しています。

**「私あなたがたに最も大切なこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。キリストは、
 聖書の示すとおり、私たちの罪のために死なれたこと、また葬られたこと、また聖書の示すとおり、3日
 目によみがえられたこと。」(第一コリント15:1-4)**

つまり、初臨に関する聖書預言が成就されたという意味です。これが、イエス・キリストの福音です。そして
 次は、福音に答える方法、福音に対して私たちが答える方法です。人が、この人生の中で決める最も重要な決
 断、永遠の命の為の決断です。これは、子供にでも分かるほど簡単な「救いのABC」で知られています。

Aは、自分が罪人であり、救い主が必要であると、Admit/認める。これはローマ3:10で、こう書かれて
 います。

「義人はいない。ひとりもない。」(ローマ3:10)

ローマ3:23は、こう告げています。

「全ての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることが出来ず、」 (ローマ3:23)

ローマ6:23はセットになっていて、悪い知らせが先あって、それに、良い知らせが付いて来ます。悪い知らせとは、私たちは皆、死刑宣告をされている、なぜか？それは罪のためです。なぜなら

「罪から来る報酬は死です。」 (ローマ6:23)

「しかし、神の下さる賜物は、私たちの主イエス・キリストにある永遠の命です。」 (ローマ6:23)

一体どういうことなんだ?! それは、イエスが来られ、あなたの代わりに死なれたのです。「あなたは、罪のために死刑宣告を受けたのか? わたしはその罪を受け取り、わたし自身にかぶって、わたしが代わりにあなたの死刑を受けよう。」 良い知らせだ! あなたは自由だ。あなたの負債は支払われた。死刑宣告は、あなたの代わりにイエスが受けてくださった。それが良い知らせです。それがA。次にBです。

Bは、イエス・キリストが主である、と心で Believe/信じる。ローマ10:9-10にはこうあります。

「あなたの心で、神はイエスを死者の中からよみがえらせて下さったと信じるなら、あなたは救われるからです。」 (ローマ10:9-10)

それがB。次はCです。

Cは、主の御名を Call/呼び求める。もしくは、ローマ10:9-10にあるように、口で Confess/告白する。

「なぜなら、もしあなたの口で、イエスを主と告白し、あなたの心で、神はイエスを死者の中からよみがえらせて下さったと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」 (ローマ10:9-10)

そして最後にローマ10:13、これで交渉成立です。

「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる。」 (ローマ10:13)

呼び求めるものは誰でも、です。もしあなたが、これまでに一度も主の御名を呼び求めて救われていないなら、愛を込めて言わせてもらいます。今日それをしてくださいませんか? 私たちは、家に帰りたいのです。真剣ですよ。言っておきますが、私はものすごく真剣ですよ? それからもう少しで終わります。ですからあと1分だけ聞いてください。これだけは言っておかないと。最後の異邦人が救われると、ラッパが響き、そしてパウロがテサロニケの教会に書いています。

「キリストにある死者がまず初めによみがえり、次に生き残っている私たちが、たちまち彼らと一緒に雲の中に一挙に引き上げられ、---携拳という言葉はここから来ています。空中で主と会うのです。」

(第一テサロニケ4:14-18)

私たちが、まだここにいる唯一の理由は、最後の一人がまだ救われていないからです。だから、どうかお願いします。もしここにいる人の中で、あなたがその最後の一人なら、お願いしますよ!!

イエスの御名によって。ご起立ください。祈りましょう。皆さんの憐れみと忍耐に感謝します。

主よ。感謝します。私たちは、その日、その時を知りませんが、私たちには、贖いが近い事が分かります。ですから主よ。祈ります。マラナタ! イエス様、早く来てください。ただ私たちはまた祈ります。まだ時間のあるうちに、まだ救われていない人が、心で信じ、口で告白し、あなたの御前に彼らが犯した自分の罪を認識し、今日、彼らが最も重要な決断をして、救われますように。

イエス様ありがとうございます。イエスの御名によって。アーメン。



このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」

ヘブル4:7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe

47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by Fuyuko Chishima